吹上町中田尻の田の神

【所　在　地】日置市吹上町中田尻
【種　　別】県指定有形民俗文化財
【指定年月日】昭和 43 年３月 29 日

　像の高さ 96cm は田の神としては高いもの。白質の粗い凝灰岩で作られ，風化しやすいため顔面はくずれていて表情は不明である。頭巾風にシキをかぶり，長い袖の衣にひだの多い袴をつけている。右手に小さいメシゲ，左手にカギ状の長い鍬を持っている。雲竜紋のある台石の下に角台石があり，その正面に「奉供養　享保二丁酉年正月十四日」と刻んである。享保２（1717）年のもので，薩摩半島の金峰，吹上を中心に多く見られる僧衣立像の背の高い田の神のうち，最も古く典型的なものである。